

創刊号

市自公連だより

筑紫野市自治公民館連絡協議会



■発行元 筑紫野市自公連事務局 ■☎818-0057 福岡県筑紫野市二日市南 1-9-3
 ■発行責任者 会長 中野 二郎 生涯学習センター内 ☎ 092-918-3535

ごあいさつ



筑紫野市自治公民館
連絡協議会 会長

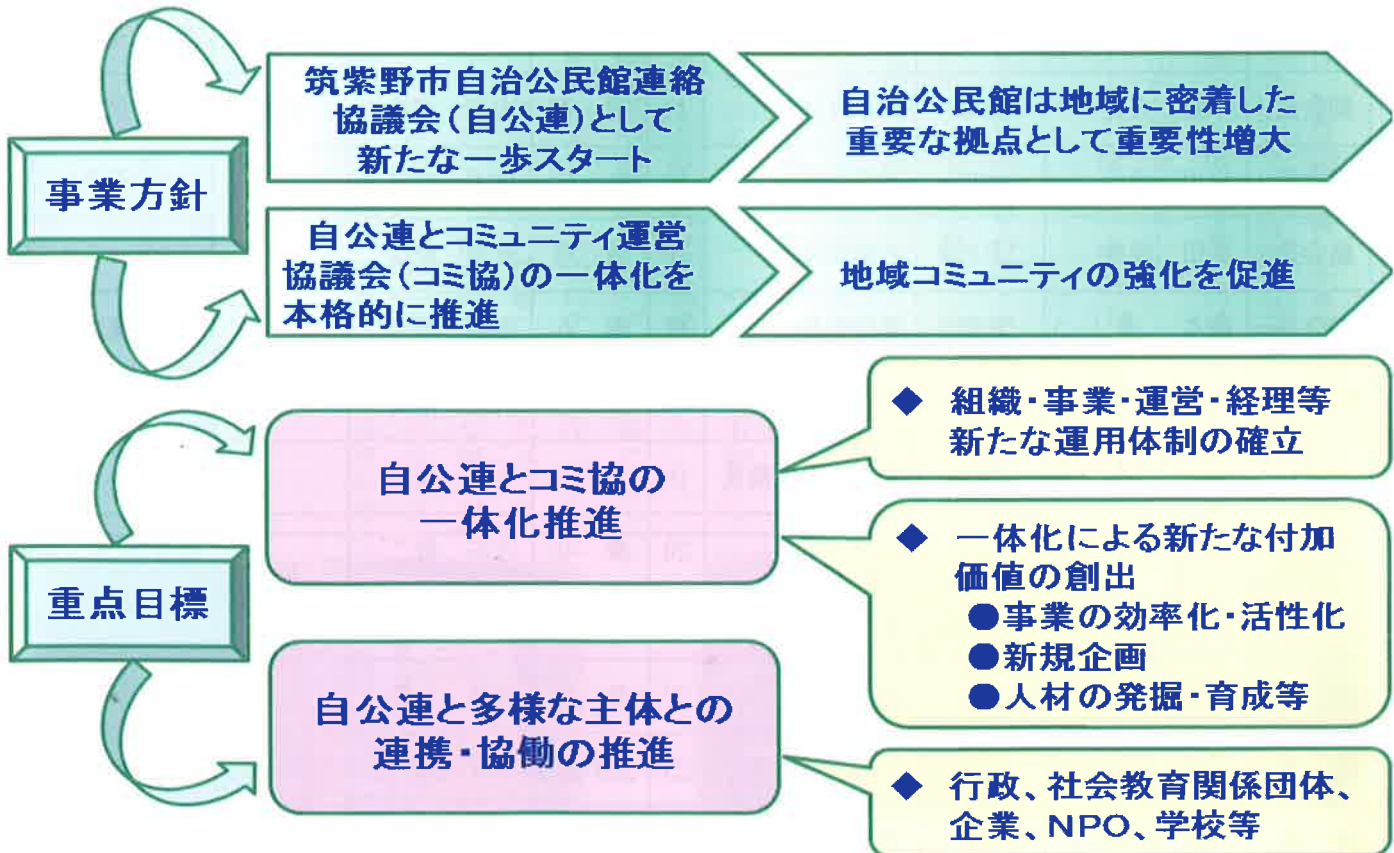
中野 二郎
松ヶ浦公民館長

一九七二年(昭46)から約半世紀にわたり、市の公民館ネットワークの要を担ってきた「筑紫野市小地区公民館連絡協議会【市小公連】」は、この5月の総会で、「筑紫野市自治公民館連絡協議会【市自公連】」と装いを新たにし、本年度事業計画の基本方針として「自公連とコミュニティ運営協議会の本格的な一体化」を掲げて新たな一歩を踏み出しました。この改革は、単なる組織名称の変更にとどまらず、現在策定中の第六次筑紫野市総合計画に対して組織・活動形態などあらゆる面で柔軟に呼応できることを前提としたものです。

前述の基本方針の中で、「一体化による新たな付加価値の創出」を重点目標のひとつに挙げておりますが、市の防災拠点である新市庁舎竣工・運用とあいまって、地域【コミュニティ】の防災機運も高揚して行くことは必然で、「地域防災の拠点自治公民館」という側面が従来にも増して強調されると思われます。また、「地域福祉」につきましても「地域防災」とともに車の両輪として充実していく必要があります。

今までの事業を継続しつつ、コミュニティ運営協議会と一体となった新たな活動を積極的に推進し、自治公民館が地域に密着した重要な拠点のひとつとして、地域コミュニティの形成・発展に寄与できるよう邁進していききたいと考えています。

令和元年度市自公連事業方針・重点目標



■議案すべてが承認され、令和元年度の市自治公民館連絡協議会(自公連)の新役員 事業計画が決定致しました。参加人数189名(5月11日土曜日・さんあいホール)



令和元年度
市自治公民館定期総会

【令和元年度主要事業計画】

- ・ 4月 9日(火) 会計監査
- ・ 4月12日(金) 役員会
- ・ 4月26日(金) 理事会
- ・ 5月11日(土) 定期総会
- ・ 6月15日(土) 館長・主事等研修会
- ・ 7月12日(金) 役員会
- ・ 7月19日(金) 理事会
- ・ 7月26日(金) 福岡県公民館大会
- ・ 8月29日(木)～30日(金) 九州地区公民館研究大会
- ・ 9月13日(金) 役員会・理事会
- ・ 9月28日(土) 推進大会
- ・ 10月16日(水) 館長主事等研修会(人権研修会)
- ・ 11月 1日(金) 役員会
- ・ 11月22日(金) 理事会
- ・ 1月～2月 地区別視察研修会
- ・ 1月22日(水) 県公民館実践交流会
- ・ 2月 8日(土) 福岡地区公民館研修会
- ・ 2月21日(金) 役員会
- ・ 2月29日(土) 筑紫地区公民館研修会
- ・ 3月13日(金) 理事会



令和元年度 市自公連役員・理事等一覧

役職名	氏名	地区	備考	役職名	氏名	地区	備考
1 会長	中野 二郎	二日市	松ヶ浦館長	13 理事	法花堂 範和	筑紫南	光が丘主事
2 副会長	平嶋 人美	山家	山家6区館長	14 理事	古賀 英樹	山家	山家9区主事
3 副会長	中川 幸治	山口	平等寺館長	15 参与	檜木 理恵		生涯学習課長
4 副会長	高田 俊雄	二日市東	石崎館長	16 参与	飯笹 能彦		二日市コミセン館長
5 副会長	藤本 進	筑紫	美咲館長	17 参与	平嶋 廣幸		二日市東コミセン館長
6 事務局長	久木田 正比古	御笠	みかさ台館長	18 参与	帆足 博文		山口コミセン館長
7 会計	鍋嶋 明	筑紫南	美しが丘北館長	19 参与	小島 康正		筑紫南コミセン館長
8 理事	尾上 登士夫	二日市	天拝坂主事	20 参与	立石 敬二		筑紫コミセン館長
9 理事	武本 久美子	二日市東	紫ヶ丘主事	21 参与	石丸 明彦		山家コミセン館長
10 理事	市村 達也	山口	古賀主事	22 参与	高橋 由貴		御笠コミセン館長
11 理事	山崎 正司	御笠	下阿志岐主事	23 会計監査	中村 隆一	二日市東	紫主事
12 理事	松尾 和幸	筑紫	永岡主事	24 会計監査	森 政之	筑紫南	美しが丘南主事



筑紫野市コミュニティ連絡会
筑紫南コミュニティ運営協議会
会長 古川 仁 敬

コミュニティ運営協議会の活動(1)

今年度は、コミュニティ運営協議会と自公連が一体化して、本格的に活動を展開することになり、地域の中核的な活動拠点はコミセンだけでなく、各公民館に広げることが可能になりました。また、コミュニティスクールと連携することで、それに地域内の小・中学校が加わり、これまで以上に地域が一体となり、多様で特色ある活動を展開することができるようになります。

具体的には、

- ①筑紫東小、原田小の生徒が花の苗づくりをし、その花の苗をコミセンや中学校、すべての公民館、派出所などに植えてもらう「花いっぱい運動」の展開
- ②文化祭を筑紫野南中学と連携し、幼児、小・中学生をはじめ、各公民館の参加を得て、地域ぐるみの文化祭(初日が中学校、二日目が筑紫南コミセン)の実施
- ③高齢者のお茶の間サロンなどの寄り合い場の設置
- ④中学校と連携して防犯ハザードマップの作成
- ⑤市と協同で進めている地域版社会資源情報誌作成に係る情報の提供などが主な取り組みとなります。



令和元年度市自治公民館館長・主事等研修会

六月十五日、「公民館館長・主事等研修会」が生涯学習センターで、百名以上の参加で開催されました。今回はコミ協との一体化推進に向け、各コミ協役員の皆様にも出席して頂きました。

■今回のテーマと講師は：講話(1)「館長・主事の基本的な役割」については、生涯学習課の砥綿社会教育主事より・講話(2)「自公連・コミ協一体化の取り組み」については、生涯学習課の佐々木社会教育指導員より・講話(3)事例発表「コミュニティ主役の地域防災」を二日市コミュニティセンターの飯笹館長より、わかりやすく説明がありました。

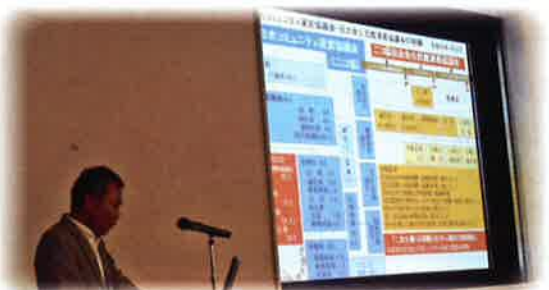
特に、事例発表については、いつ起きてもおかしくない自然災害への取り組みに感銘しました。

その後、前記三つの講話から、グループ毎にワークショップを行いました。二つのテーマ、①「コミュニティとの一体化の現状・課題」②「コミュニティと一緒にやりたいこと」について、活発な討議がされました。討論時間が少なかった為か、グループの意見が集約できず、発表するまでに至りませんでした。

しかし、館長・主事としての「課題や役割」を学んだほか、「公民館とコミ協との一体化」を進めていきたいと感じられる研修会でした。

石崎公民館館長

高田 俊雄



小公連 & コミ協 一体化推進

平成29年2月、市から小公連に対して、小公連とコミュニティとの関係性整理(連携・一体化)について検討を依頼。筑紫野市における各地域コミュニティの強化を促進するため、平成29年6月より小公連において連携検討委員会を組織し8回にわたって協議を進め、小公連とコミ協の一体化答申案を策定。平成30年5月12日の市小公連定期総会に第3号議案として提案し、規約改正案も含めて承認を得ました。

この一体化答申案に沿って、平成30年度中に条例改正、補助金などの一元化、各地域コミ協における小公連組織の位置づけ確立等、一体化のための準備、一部試行及び先行推進を実施し、平成31年度(令和元年度)から、コミ協と一体化した筑紫野市自治公民館連絡協議会として新たな一步を踏み出しました。

以下、【現状・課題・目指す姿】【全体スケジュール】【一体化の姿】【一体化後の組織体制等】【一体化後の主な変更点】【一体化のメリット】等について、今までの一連の取組み状況を図で示します。

「小公連 & コミ協連携」の現状・課題・目指す姿

市としての提案
(2017.2)

地域コミュニティの強化を促進するため
「小公連とコミ協を一体化」

現状

- 小公連組織は、コミ協に対応した7地区小公連組織を確立して運用中
- 小公連と各地域コミ協の共催事業(文化祭等)など連携して推進中

課題

- 現在推進中の「地域コミュニティの強化」のために、小公連と一体化した、さらなる密接な連携が不可欠
- まちづくりの拠点である公民館活動のさらなる活性化

目指す姿

- 現在の小公連事業の継続的な推進
- 地域コミュニティ及び小公連事業の強化
- 地域コミ協と一体化することによる新たなメリットの創出(事業の効率化・活性化、新規企画、人材発掘・育成等)

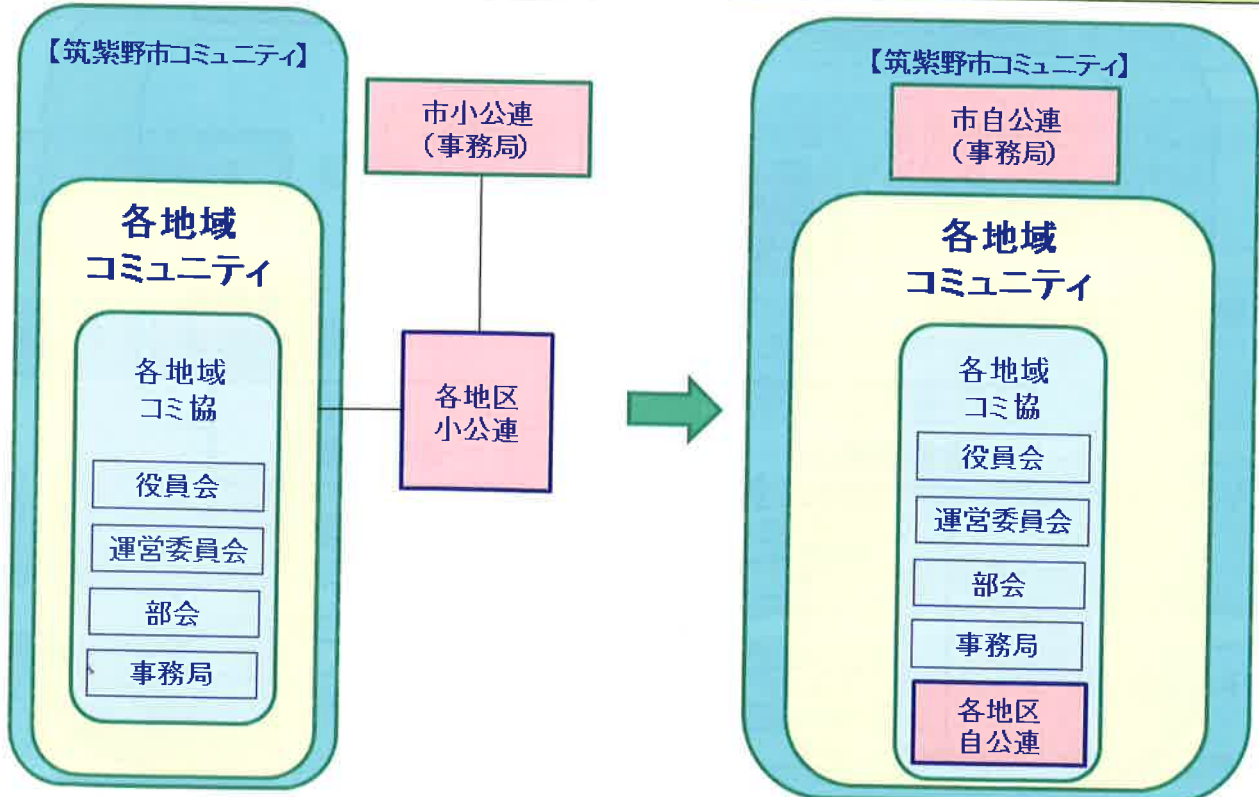
「一体化」全体スケジュール

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
推進ステップ	一体化提案 (市)	小公連 & コミ協 協議	承認・試行 (先行推進)	一体化本番 運用開始
市小公連	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">市から提案 (2月)</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">事前協議 (3月)</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">検討委員会 (6~3月)</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">本番運用準備 (4~3月)</div> </div>			
各地区小公連 & コミ協	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">各地区協議 (7~12月)</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">各地区試行 先行推進 (5~3月)</div> </div>			
市小公連 & コミ協 連絡会議	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">市全体協議 (11~2月)</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">市全体協議 (4~3月)</div> </div>			
一体化 承認・運用	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">総会承認 (5月)</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">総会承認 (5月)</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">試行・準備 (5月~)</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">本番運用 開始 (4月~)</div> </div>			

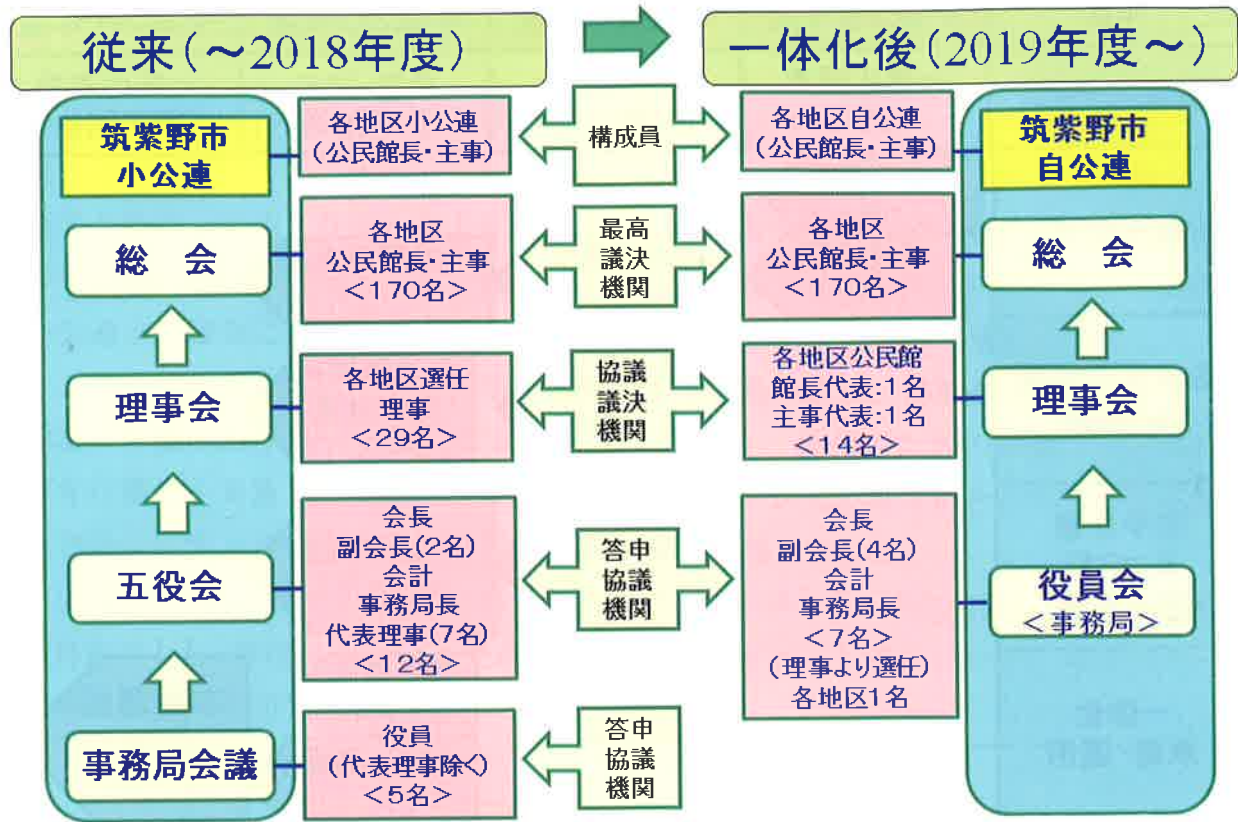
小公連 & コミ協一体化の姿

従来 (~2018年度)

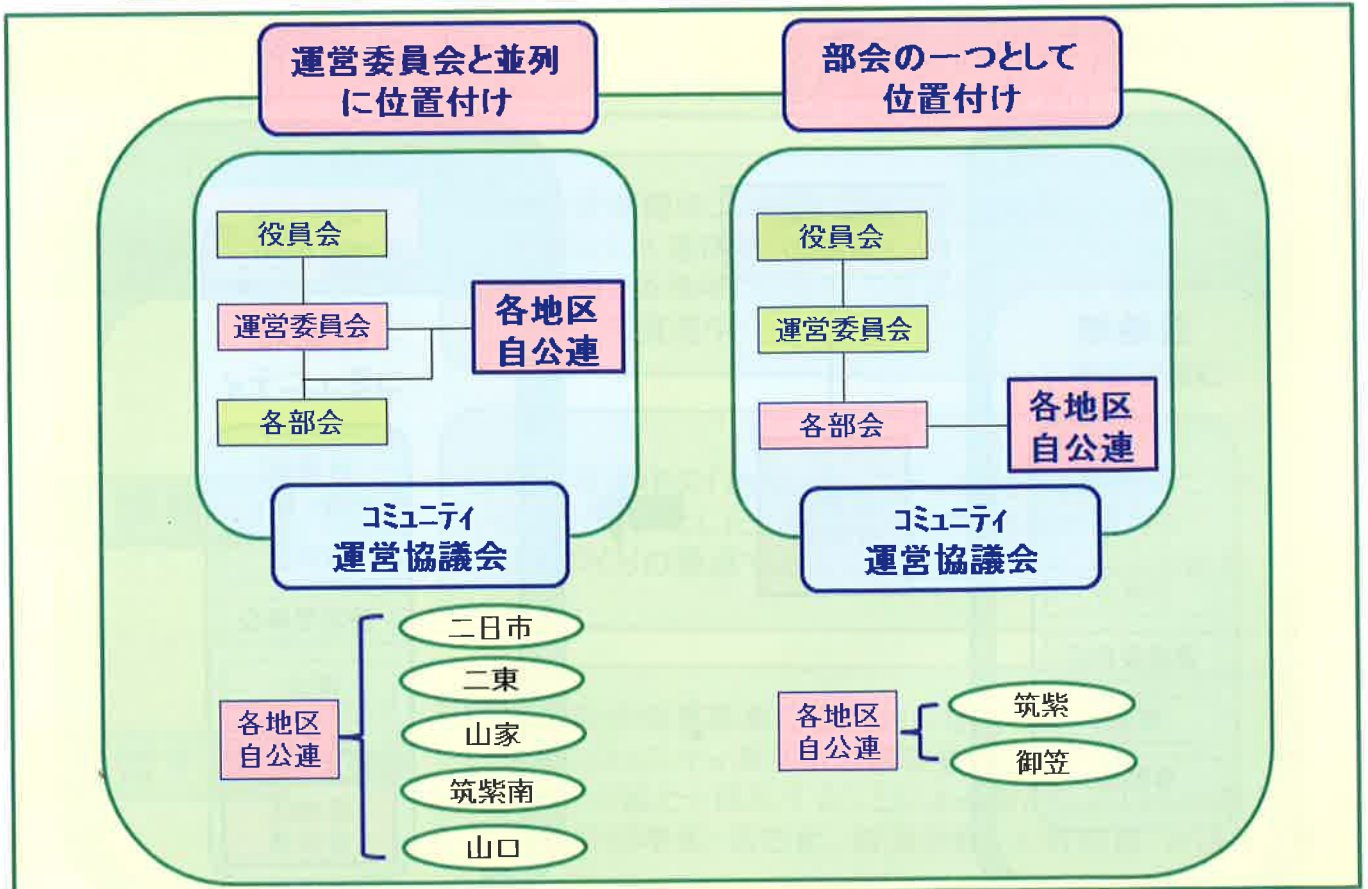
一体化後 (2019年度~)



市自公連【組織】



各地区自公連 & コミ協一体化【組織】



一体化後の体制及び変更点

組織

- 名称 小公連 ⇒ 「筑紫野市自治公民館連絡協議会」(自公連)
- 位置付け 小公連 ⇒ コミュニティの組織の中に位置付け
- 理事定数 29名 ⇒ 各地区より館長・主事代表各1名選出(14名)

経理

- 市補助金 小公連 ⇒ 地域コミュニティづくり交付金に一元化して配布
- 負担金等 小公連 ⇒ コミ協経由で自公連に配布

事業

- 全市横断的な事業(地域コミュニティの活性化に資する事業)
- 自公連が主催する事業(総会・研修・情報発信等)
- 市教育委員会や各種社会教育関係団体が実施する事業との連携及び協力

運営

- 筑紫野市コミュニティの中で、コミュニティ連絡会及び各地域コミ協と密接に連携及び情報共有しながら、公民館に関する全市横断的な事業を推進
- 生涯学習課公民館担当が市自公連事務局を支援

規約

- 上記の組織・経理・事業・運営に関する変更内容を規約に反映
- 主事設置補助・公民館設置補助条例等 小地区 ⇒ 自治公民館

「自公連 & コミ協一体化」のメリット

事業の効率化

- 各地区自公連とコミ協の重複する事業・会議等を一体化することにより、人員・時間等の効率化が可能
- ☞自公連とコミ協の一体的・効率的な事業計画策定

事業の活性化

- 各地区自公連とコミ協を一体化することにより、自公連事業への参加者の増大が可能で、活動が活性化
- ☞一体化したホームページによる情報の共有化

新規事業の企画

- コミ協と一体化した新たな事業の企画、運営が可能
- ☞密接に連携した地域防災対策の推進
- ☞包括的な地域福祉対策の推進

小規模公民館の活性化

- コミ協として小規模公民館の活動支援が可能になり、公民館事業を活性化
- ☞コミ協と連携した公民館主催事業の推進

人材の発掘、育成

- コミ協と一体化することで、広範にわたり必要な人材の発掘、育成が可能
- ☞コミ協の各部会、ボランティア団体等の人材活用



光が丘公民館

光が丘区は筑紫野市南部の丘陵地に位置しておりニュータウンとして開発、宅地整備が進められて、平成元年ごろより入居が始まり、平成4年7月『光が丘区』として誕生しました。区の中央を国道200号線が横断している、緑に溢れた閑静な住宅地です。約30年を経過し世帯数 1,336 戸・人口 3,456 人(H31.2 現在)ですが、平成18年をピークに人口は減少傾向にあり少子高齢化が急速に進んでいる状況にあります。

公民館活動は8月に夏祭り、9月に敬老会、11月に公民館祭りの他、月2回のいきいきサロンなど

また公民館利用のサークル活動もストレッチダンス、太極拳、ヨガ、社交ダンス等活発に利用されており、特に多目的ホールの利用率は80%を超えています。

特筆すべきは住民の高齢化の進捗に対応したシニアクラブ(熟年の会)の活性化です。自治会の助成のもと傘下の同好会が盛況(約130人の会員)でそれぞれの趣味を通じて親交を深めています。

また、最近卓球、卓球バレーの同好会が発足し新しい会員も増えており、住民交流の場としての役割が大いに期待されています。

光が丘公民館 館長 志田 正次



みかさ台は宝満山の麓に位置し宝満川の流れる右に353世帯を有する団地です。年間主たる行事として月1回の公民館の主催講座、6月、12月の市消防参加の防災避難訓練7月の夏祭り、9月の敬老会、11月のバスハイク、12月のワンコインパーティー(ふるさと創生主催)と年末パトロール、年始め子ども参加の餅つき大会などが行われています。年間の公民館利用数は11,206名(30年度)の利用がありサークル活動としては38のサークルが活動しています。サロンみかさ、みかさ台文庫、カラオケ教室、男料理、みかさ亭、生花、麻雀同好会、グランドゴルフ卓球、ゴルフ同好会、ダーツ、登山歩こう会、など住民の方々が幅広い趣味に参加、対応出来る環境が整っています。



みかさ台公民館

本年6月からは地域の子供達を見守る「どんぐり広場」を開設、放課後の宿題等のお手伝い、折り紙、昔話等の遊びタイムを設け若いお母さん方の応援を行っています。

今後としては、高齢化による団地運営の再構築として、見守り隊・ヘルプみかさの強化、ブロック・組の再調整などが必要となってきました。

みかさ台公民館 館長 久木田 正比古



編集後記

令和元年度、7地区コミュニティの広報委員です。充実した市自公連だよりを発行したいと思っております。ご協力お願い致します。

広報委員

筑紫	藤本 進	美咲館長(広報担当副会長)
筑紫南	法花堂範和	光が丘主事(編集委員長)
二日市	尾上登士夫	天拝坂主事
二日市東	武本久美子	紫ヶ丘主事
山口	市村 達也	古賀主事
山家	古賀 英樹	山家9区主事
御笠	山崎 正司	下阿志岐主事
筑紫	松尾 和幸	永岡主事

